

第1号議案 第11期事業報告

I. 第11期事業 総括報告

シルバーアドバイザー・ネット大阪（以下 SA ネット大阪という）は平成18年4月に設立され、平成18年9月にNPO法人として認可されました。

設立の目的としてきた高齢者が長年培ってきた豊富な社会経験、知識や技能を生かして今年一年間地域社会で活動し、子どもたちの健全育成、高齢者の生きがいがづくりや安全で住みよい街づくりのために活動してまいりました。

- ① ・伝承おもちゃづくり事業部は自分で作ったおもちゃを、親子で、またみんなで楽しむ企画を各地域の学校や施設や催事で実施することができました。「手づくりおもちゃ教室」では、指導を受けた参加者は、成果を早、速生かして地域活動に参加するという良い結果が定着してきました。
 - ・おもしろ算数教室事業部は子どもたちに考える力を、高齢者には脳の活性化により認知症予防を目指し活動をして好評を得ました。参加者も順調に増えてきました。
 - ・国際交流事業部は国際交流サロンを開催し留学生による各国の紹介とさまざまな国からの留学生との交流会を持ち、国際交流と相互理解を深めることができました。大阪府高齢者大学校（以下高大という）主催による「子ども英会話教室」は共催で今年の新しい取り組みとして子どもたちの英語に関する積極的な参加が注目されました。
 - ・広報部はホームページで各事業部の報告と行事予定を随時更新してきました。広報誌「SA・ネット大阪ニュース」を発行し活動の成果を発表してきました。
- ② 少子高齢化社会、生涯学習、医療・健康等に対しての問題意識を持ちながら企画面での取り組みができなかったのは反省点です。
- ③ 高大の新しい取り組みとして V.Concierge (ボランティア・コンシェルジュ) 制度が発足し、クラスで受講生への活動紹介の時間を使っての説明により14名の新規の入会者を迎えることができました。今までになかった今年度の大きな成果といえます。会員数は現状維持という状況ですが、新規加入の会員の新しい発想を取り入れ活性化を図ります。
- ④ 高大、大阪府民・区民カレッジ、大阪アクティブシニア協会との連携、校友会の各団体との連携等各種行事に積極的に参加することで日頃の活動を紹介することができました。
- ⑤ 今年度は経理上の税務処理に関しまして指導を受け予想外の税務処理が必要となり最終損益を悪化させる結果となりました。今後は適切な処理をするよう注意が必要と反省をしています。

次年度は今年の良かった点は一層強化し、至らなかった点は改めて新体制で推進したいと思います。

II. 事業部 活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

当初より一貫して幼児、児童を対象に日本古来の「伝承おもちゃ」を一緒につくり、自分がつくったおもちゃで遊ぶことを通じて、またそれぞれ若いお父さん、お母さん方も加わってもらって、交流する所謂「多世代交流」を図ってきました。

昨年度も多くの機会を通じて「多世代交流」ができたと思っています。新たな出前講座として、月1回、四天王寺「わか市」に参加。また、地域商店街とのコラボなどでイベントに協力出店と活動してきました。

更に一昨年からは障がい者対象のおもちゃづくり出前教室も実施、来場者から活力を得たと予想以上に喜ばれ、交流交歓が図れました。

シニア市民を対象に行っている隔月の「おもちゃづくり教室」にも徐々に参加者が増え地域での活動に役立っていると聞き、根付いてきたことを実感しています。

ただ、おもちゃづくりを指導するメンバーの高齢化による活動人員の確保が年々難しくなり、イベント参加もままならぬ状況に近づいて来ています。

活動資金確保と併せ今後の課題となりつつあります。

年間イベント参加回数 12回 活動日数 延14日、
講師参加者数 延68名 来場者 863名

2. おもしろ算数教室事業部 活動報告

① 出前教室・・・高齢者向け4回 実施

・高齢者向けに、継続的に実施をしているところでは、初めて参加した方と、何時も参加される方との違いが、目につきます。参加を重ねると、楽しまれるようになる様子が、窺えます。皆さん「いつまでも心身共に元気で過ごしたい」と参加することを楽しみにしておられます。

② パズル体験・・・13回実施

・高大同窓会文化祭では、この日を楽しみに来られた方が、パズル体験に取り組んだ上に、テキストを購入し「孫と一緒に楽しんだ」と後程、仰っておられました。

・SAひらかた10周年ふれあいまつりでは、先ず、後ろで待ってる子どもが楽しみ始め、そのうち、保護者の方々が口添えをはじめ、次第にお父さん・お母さんも一緒になって楽しんでくれたのが印象的でした。

③ 講座を実施・・・八尾市生涯学習センターと共催

・体験会・初級講座・中級講座・上級講座・サポーター養成講座・サポーター認定会と、実施しました。

・今年は、サポーターの認定人数が少なく残念でした。

④ サポーター会・・・春と秋に実施

- ・新パズルの紹介や、情報交換により、サポーター間の交流を深めました。

3.国際交流事業部 活動報告

- ① 今期は6回、第4月曜日に国際交流事業部運営委員会を開催し、事業部運営に関する新しい企画・運営等について検討しました。
- ② 国際交流サロンを1回開催しました。

大阪大学大学院博士課程で学んでおられるチュニジアのシュワヤクマヘディさんを講師にお迎えし、第34回国際交流サロンを7月17日(日)に豊中市千里文化センターで開催しました。

一般参加者58名、留学生7名、講師、スタッフ等合計73名で、音、映像、民族衣装等を交えての約1時間30分の楽しい講演が出来ました。チュニジアは日本ではあまり知られていない国という事もあっていつもより多くの方が参加され、質問も多岐に亘って多くあり、それなりに関心をもたれた様でした。

第2部は約1時間強、外国の方々との交流を楽しまれました。
- ③ 子ども英会話教室「遊びながら英会話を楽しもう」を開催しました。

今期の新しい試みとして「遊びながら英会話を楽しもう」という年長組、小学校1年・2年生を対象にした子ども英会話教室を高大主催で、SAネット大阪が共催で開講しました。

第1弾は7回シリーズとして、10月15日～1月21日までの毎月第1と第3土曜日の午前中に開講しました。

最初の1時間は歌やゲームなどの遊び感覚のスタイルを取り込み、絵カードなどを使って楽しく、また学びやすくした形式を採用しました。

後半の30分は英語でおもちゃづくりというプログラムを取り入れ、飽きずに楽しく勉強できるという内容にしました。

参加者は延べ77名で楽しく遊びながら英語を学ぶと言う目的を達することが出来ました。

第1弾の反省点を踏まえて、継続して開講出来る様に努めたいと考えています。

4. 広報部 活動報告

1) 広報紙の発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回(28/5月,7月,11月)発行、会員交流の場として会員かわら版コーナーを継続し、活動状況の発信に努めました。
- ② 「SAネット大阪PRチラシ」を、増刷しSAネット大阪のPRに努めました。

引きつづき高大、校友会のPRコーナーのラックにも配架し、SAネット大阪のPRに努めました。

- ③ 関連団体の「アクティブシニアフェスタ 2017」や「高大文化祭」に参加コーナーで SA ネット大阪の PR に努めました。

2) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「伝承おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」等の更新と、トップページに設けた各事業部「トピックスコーナー」に、毎月のホットなニュースを定期的に届ける様にしています。
- ② 引き続き関連団体主催の「高大文化祭」、「アクティブシニアフェスタ 2017」や SA ネット大阪会員の活動する「千里英語サロン」、「おしゃべり会」等の掲載による更新をしました。

第 2 号議案 第 1 1 期活動計算書 報告と監査報告

I 第 11 期 活動計算書 報告・・・別紙「決算報告書」を参照願います。

II 第 11 期 監査報告・・・・・・・・次頁を参照願います。

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

理事長 武内 信憲 様

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの、平成28年度における会計並びに業務の監査を行い、次のように結果を報告いたします。

記

1. 会計監査について、貸借対照表、財産目録、活動計算書、財務諸表及び会計諸帳簿を精査した結果、経理関係は適正に行われており、財産状況を正しく示しているものと認めます。
2. 業務監査について、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類閲覧を行い、業務執行の妥当性を検討した結果、事業報告の内容は正しいものであることを認めます。

平成29年5月22日

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

監事

第3号議案 役員選任の件（案）

現在の役員	新役員候補（案）
理事（顧問） 永田 得祐	理事（顧問） 永田 得祐（再任）
（顧問） 奥谷 英夫	理事（理事長） 武内 信憲（再任）
理事（理事長） 武内 信憲	理事（副理事長） 西川 龍夫（再任）
理事（副理事長） 西川 龍夫	理事（副理事長） 二葉 登代子（再任）
理事（副理事長） 二葉 登代子	理事 三田 進一（再任）
理事 三田 進一	理事 大川 正彦（再任）
理事 大川 正彦	理事 島田 道子（再任）
理事 古矢 弘道	理事 森井 英和（新任）
理事 島田 道子	理事 小林 町子（新任）
理事 片山 亜子	理事 村松 秀明（新任）
監事 笹原 義正	理事 北川 陽子（新任）
	監事 新鞍 清彦（新任）

[退任] 顧問 奥谷 英夫、理事 古矢 弘道、理事 片山 亜子、監事 笹原 義正

第4号議案 定款変更の件

	変更後	変更前
定款の変更内容	<p>第49条 この法人の公告は、<u>ホームページに掲載するとともに官報により行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。</u></p> <p>附則 6 <u>第49条ただし書きの規定は、法第28条の2第1項の規定の施行の日から施行する。</u></p>	<p>第49条 この法人の公告は、この法人の<u>掲示場に掲示するとともに官報により行う。</u></p> <p>附則</p>

第5号議案 第12期 事業計画 (案)

I. 第12期 総括事業方針

今期は新規入会の会員と役員を迎え新体制でスタートすることになります。新しい発想も取り入れて、取り組みたいと思います。

平成27年より、主たる事務所を大阪市（高大事務所内）に移してきましたが、今期から高大内の新事務所に固定されたことにより、あらゆる面で連絡が集中管理できる体制になります。

各事業部の企画面や処理方法にも一層の工夫と改善が必要になります。大阪府高齢者大学校、大阪府民・区民カレッジ、大阪アクティブシニア協会、校友会等の関係団体との連携が益々重要になります。

新規の会員の確保、会員の皆様に喜んで参加してもらえよう企画、地域に歓迎される企画が求められます。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

- ①今期も「おもちゃづくり出前教室」を通じて、「伝承手づくりおもちゃ」手法を子どもたちや、若いご両親方に伝え、楽しみながらつくり、またそれで遊ぶ喜びを実感してもらい「多世代交流」を図ります。
- ②障がい者に対する交流も少ない機会を捉えて積極的に参加し、自立・社会参加に何らかの役立つことを期待しています。
- ③「大阪区民カレッジ」受講生、「手作りおもちゃづくり教室」参加者などを通じて、指導者養成にも、積極的に働きかけます。
- ④SA 連協「おもちゃ部会」や、校友会員との連携により、情報の共有化、コラボ活動を図ります。
- ⑤活動原資の確保については、助成金を積極的に活用すべく申請します。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

- ①出前教室の機会を増やしたいものです。報告でも触れましたが、継続的に実施しているところでは、長らく参加している方が、目新しいパズルに対してもどんどん解き進んでいかれます。しかし、最近参加し始めた方は、慣れないで、なかなか解き進まない姿と対照的です。これは、脳が活性化されていることの証と言えるでしょう。
- ②27年・28年と実施した一連のサポーター養成講座を、引き続いて、今年度も八尾市の生涯学習センターと共催で、実施することとなりました。参加者が増えることを期して、今年度は、火曜日に実施します。
- ③パズル体験の機会を増やし、テキストの販売を進め、算数パズルを解く楽

しさを、多くの方々に分かっていただきたいと考えています。その上で、「おもしろ算数教室」とはどのようなものかを、知って欲しいものです。昨年にも増して、体験会実施の機会を増やしたいし、多くの参加者を募りたいと思います。

- ④サポーター会を、より充実したものにするために、次の様に取り組んでいきます。次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきます。
 - (1) 新しいパズルを、互いに提案し、楽しみます。
 - (2) サポーター各々が、算数パズル体験を実施できる機会を増やします。
 - (3) 算数パズルのためにテキストを販売します。更に追加の新しいテキストを作成しようと考えています。

3.国際交流事業部 活動方針

1、従来活動の継続と進化

- ①国際交流事業部運営委員会の定期開催
原則毎月第4月曜日午後開催します。
新しい試みの検討や関心度の高い魅力ある企画を立案、実施します。
- ②国際交流サロンの開催
メイン活動である国際交流サロンをより多くの参加者を得て楽しく交流して頂けるようテーマ内容を検討実施します。
- ③昨年度開講した高大主催の子ども英会話教室「遊びながら英会話を楽しもう」をより充実した内容で実施できるよう検討します。

2、社会・環境にむけた活動を模索し取り組みます。

- ①学習、趣味の実践
英語圏留学生を講師とする英会話教室企画を検討し実施します。
- ②高大同窓会と連携しコミュニティ作りのサポートを行います。
- ③地球環境問題に取り組む団体や国際協力団体と連携し共催イベント等を立案実施します。

4.広報部 活動方針

1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回(29/4月,7月,10月)の発行を目指し、継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実内容を図り発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援

2) 啓発活動

- ① 高大校友会のPRコーナーのラックにも継続した配架と「PR チラシ」等を増刷して、SA ネット大阪のPRに努めます。
- ② 関連団体行事の「アクティブシニアフェスタ」や「高大文化祭」に事務局と共同で参加し、PRブースでSA ネット大阪のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等と引き続き「事業トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- ② 関連団体の「高大」、「高大校友会」、「大阪アクティブシニア協会」やSA ネット大阪会員の主催する「千里英語サロン」、「おしゃべり会」、「会員活動」等の情報も随時掲載して更新を図ります。

第6号議案 第12期活動計算書予算(案)・・・・・・・・・・次頁を参照願います。